

## 平成 30 年度 第 2 回歯科保健部会 議事録要旨

日 時：平成 30 年 12 月 20 日（木）14 時～15 時半

場 所：ウエルパークまもと 1 階 大会議室

出 席：10 名 一安 勝、坂本公、佐藤成美、澤村裕美子、谷口千代子、中島花江、原山照美、  
平川恵子、本田一幸、宮本 格尚（五十音順・敬称略）

事務局：健康づくり推進課、子ども政策課、保育幼稚園課、子ども発達支援センター、各区保健子ども課

- 次第 1 開会 宮本委員（中山部会長欠席のため部会長代理で進行役を実施）  
2 挨拶 原口衛生部長  
3 議題 （1）第 3 次熊本市歯科保健基本計画における進捗と中間評価について  
（2）その他  
4 閉会

資料 1 第 3 次熊本市歯科保健基本計画 ―進捗と中間評価―

資料 2 成果指標の達成状況

資料 3 成人歯科口腔健康診査と歯科意識調査の結果について

参考資料 1 第 3 次熊本市歯科保健基本計画

2 " (概要版)

3 歯科啓発資料

○事務局からの説明についての質疑やご意見は以下のとおり

### 【胎児期～中高生期まで】

#### ○フッ化物洗口の進捗状況

##### ■事務局から説明

平成 33 年度までに市内全部の小学校 1-2 年生に実施する予定で進めている。現在 17 校。  
年度末までに 20 校になる予定。シルバー人材センターと 8020 推進員に委託して実施。

##### ■委員からの意見など

【一安会長（8020 推進員）】

シルバー人材センターに委託し、8020 推進員も協力して実施しているが、8020 推進員も全部の校区にいるわけではない。学校の応援や協力がないと進まない。子どもの未来につながる事なので一緒に進めていきたい。

【原山委員（小学校校長会）】

フッ化物洗口については協力していかなくてはいけないと思っているが、学校現場は業務量が多いことと希望する児童だけが実施する煩雑さがある。県で進んでいるのは、児童数が少ないこともある。働き方改革も出てきている状況であり、皆で考えていきたい。8020 推進員を各校区に増やすことが進めていく最大の良い考えだと思っている。

【本田委員（市保育園連盟）】

費用面の負担が減ることと園長会などにおける説明で進んでいくのではないかと思う。

【坂本委員（市幼稚園協会）】

市保育園連盟と基本的に同じ考え。費用負担を考えると有難く、大きく変わると思う。小学校現場も大変との事だったが、1-2 年生に対して人的支援があるなら、より幼稚園も小さい子どもなので人の支援があるなら助かる。機会があれば、園長会での説明もお願いしたい。

【佐藤委員（歯科衛生士会）】

保護者の協力が一番だと思う。歯科衛生士会として協力したいが、昼に動ける歯科衛生士が少ない。啓発などでは協力していきたい。

### ○3 歳児のむし歯について

【中島委員（健康市民代表）】

3 歳児において保育園に通園している人と通園していない人でむし歯の罹患率データはあるのか。

↓

事務局より：約 3 年前に分析したデータでは、保育園に通園している方がむし歯が多くなっていた。

以前は通園者の方が少なかった。むし歯の要因として関連が高かったのは、親が喫煙者、哺乳瓶、母乳継続者などであった。

小学校に行った児童を追跡調査した結果、フッ化物を実施している出身園の児童が、むし歯が少なかったデータについて説明。保育園におけるフッ化物洗口の効果がデータとして出た。

### ○中学生のむし歯治療について

【宮本委員（歯科医師会）】

むし歯になったら自然治癒せずに治療するしかない。小学校では治療勧告の紙をもらって治療に行っているようだが、中学校においては、部活などクラブ優先となっており、本人は行きたくてもいけない状況のようである。学校現場からも治療に行けるよう後押しして欲しい。

↓

健康教育課より：小学校と中学校の違いは言われる通り。学校側からの働きかけをさらに進めていくことが必要だと考えている。

【宮本委員（歯科医師会）】

学校歯科医には市歯科医師会としても学校での健康教育や啓発などを実施するように伝えている。学校歯科医によって温度差はあるが、できない所には市歯科医師会としてフォローしていく。

## 【成人期～中高生期まで】

### ○歯肉炎が増えていることについて

【宮本委員（歯科医師会）】

成人歯科健診の実態を説明。

一概に歯周病が増えている事だけではなく、歯が残っているから歯周病が増えていることも実態としてはある。

食事の問題もあると思うので、食関係からの専門的な意見もお願いしたい。

【栄養士会】

歯の健康は教育が大切であると思う。妊婦検診などにおいても教育が必要だと思う。

【食生活改善推進員】

8020 推進員と食改は重複して活動している人も多く、自分のその一人。栄養士ではないので、栄養的な部分は指導できないが、妊婦の時から

【宮本委員（歯科医師会）】

行政において、食事に関してはどのような指導をしているのか？

↓

事務局より：行政において、食事に関しては栄養士が食事バランスなどその方にあつた必要な情報を伝えており、よく噛むこと等については、歯科の方でも伝えている。

【宮本委員（歯科医師会）】

高齢化社会に向けて、全身のフレイル予防と口のフレイル予防である「オーラルフレイル」が必要。

「節目検診」が必要。行政として政令市はやらなければならないとなっていると思うが行政はどのように考えているのか？

↓

事務局より：歯周病検診の必要性は十分認識している。予算も伴うものなので、検討していきたい。

【佐藤委員（歯科衛生士会）】

「嚙ミング30」はとても重要だと思っている。「磨けていない」ことを伝えていく。

「オーラルフレイル」、「定期健診の重要性」を伝えていかないといけないと思っている。

【谷口委員（包括支援センター）】

食えること（栄養）と口の健康が一番の予防と言われていて大切だと思う。セットでやっていかないといけないが、今の高齢者は歯に関心がない。フロスとか使ったことがない人が多い。みんなで協力していかないといけないと思う。嚙む練習などしている。介護保険の中でも歯科医師との連携が入ってきている。高齢者の自立に向けた支援が大切で連携をしていきたい。とても大事なところだと感じている。

## 〇8020 推進員について

【一安会長（8020 推進員）】

育成講座は受講しても現実的には会員になる人が少ない。ボランティアしている人は他にもボランティアの会に加入している人もいる。

【谷口委員（包括支援センター）】

8020 推進員さんとしてボランティアの活動の場が地域の人に知られるといい。連携の場がない。サロンの場などで一緒に活動するなど、繋がっていただけるといいと思う。

【原山委員（小学校校長会）】

- ・学校の中でもフロスの使い方や歯科に関する健康教育は実施している。現在の40代以上の方々はそのような教育を受けていない方が多いと思うのでこれから期待できるのではないかな。
- ・人間ドックや各種検診の中に歯科健診が入るといいと思う。

↓

歯科医師会より：無料で歯科健診ができるよう会として協力しており「HappyLife カード」で対応可能。

行政からも周知されているが知らない人も多い。歯科健診受診は敷居が高いように感じている人も多いので、歯科受診のきっかけとなるといい。

- ・8020 推進員数は区ごとに差があると聞いたので、区ごとの目標数があるといいのではないかな？
- また、校区の推進員数はどこに聞けばいいのかな？

↓

事務局より：区としても増やす方向でまちづくりセンターにも協力してもらい、募集している。

学校からも地域の見守り隊（青パト）の方などに8020 推進員に登録して頂けるように声掛けして頂けると助かる。校区の推進員数は区役所が把握している。

## OH35 年度の目標値について

「すべての委員が異議なし」で目標値（案）のとおりで承認された。

事務局からの依頼：歯周病予防啓発ポスターやチラシなど、啓発協力の依頼について呼びかける。  
印刷などは行政で対応する。

### 【宮本委員（歯科医師会）】

連携が大切。部会長代理として進行の役割だったが、歯科医師会としての発言もしたのでお詫びする。

—閉会—